

南日本放送

活動名	MBC アナウンサー 読み聞かせ会
実施期間	令和 5 年 8 月～令和 6 年 1 月
実施回数	会場 4 回
貸与作品数	貸与 11 作品
貸与期間	令和 6 年 3 月～配布

【事業実施の成果・課題】

- ・どんな読み方をしたら、子どもたちに伝わるか。読む本は読み手自身で選び、何度も読み、理解を深めて、表現を磨くことができた。
- ・聞き手の反応がダイレクトにかえてくることによって、読み手も練習のときより気持ちに乗って、本番でいちばんいい読みができた。
- ・参加者募集をかけた秋の朗読会では、応募して、アプリ上で整理券を配信した人たちがどれくらい会場に訪れるか、不安だった。開催直前にこちらから全員に電話をかけ、当日来てくれるか確認をとったところ、7 割近くの方が来てくださった。直接話すことの大切さを感じた。
- ・鹿児島にはユニークな民話も数多くあるので、読み聞かせ配信にもチャレンジしていきたい。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

- ・やっと、マスクを外して子どもたちに声を出してもらいながら進行できる朗読会ができました。朗読と朗読の間は、アナウンサーのフリートークを存分に生かしながら、本気の朗読はじっくりと聞いてもらう。鹿児島の中心部だけではなく、地方でも積極的に行っていきたいです。
- ・6 年生にアナウンサーとして正しい発声や読み方の工夫の仕方を伝えたところ、早速実践してくれました。質疑応答ではより詳しい話を聞きたいと沢山の児童が手を挙げてくれました。
- ・中学生からの質問では、「セリフ部分での声のトーンの使い分けはどうしたらいいですか？」という放送部ならではの具体的な質問も出るなど、建設的な会話になりました。良い朗読の為に良い声を出せるよう練習する意識を持ってもらえたと思います。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・生でアナウンサーの方々の読み聞かせ。とてもぜいたくな時間でした。
- ・防災に役立つお話もしてくれて、勉強になりました。
- ・ナレーション部分とセリフ部分の読み分けがすごくて、自分も挑戦したいと思った。
- ・第一声から引き込まれるような世界観でした。
- ・後ろに来る文章を強調する為、間をじっくり取るところが発見でした。
- ・アナウンサーの読んでいる気持ち、表情、思いなど、伝わり、感動しました。日頃、TV、ラジオで見ているアナウンサーの方々の生の声が聞けて、子どもも、声に、きれ～い。と、言って、聞き惚れていました。楽しい、秋のほっこりした時間でした。